

⑤

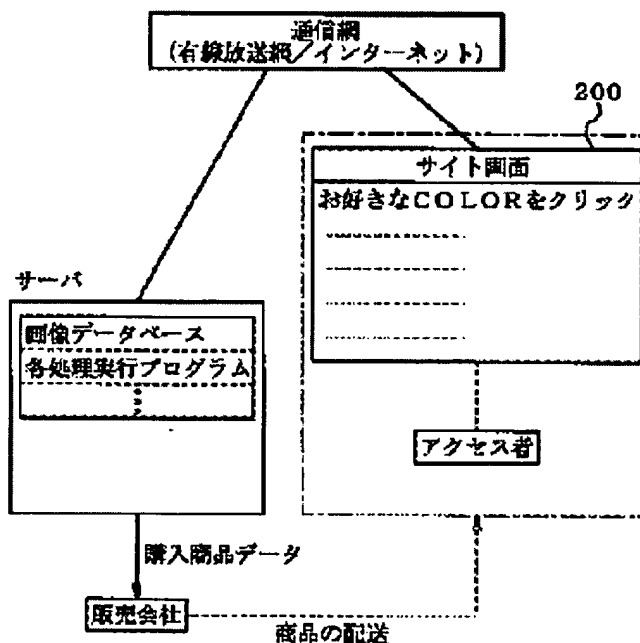
# MERCHANDISE SALE SUPPORTING METHOD, MERCHANDISE SALE SUPPORT SYSTEM AND COMPUTER READABLE PROGRAM

**Patent number:** JP2002140581  
**Publication date:** 2002-05-17  
**Inventor:** TANIO TAKAYUKI  
**Applicant:** ZAZA INTERNATIONAL KK  
**Classification:**  
**- international:** (IPC1-7): G06F17/60; G06F17/50; G06T11/80  
**- european:**  
**Application number:** JP20000336644 20001102  
**Priority number(s):** JP20000336644 20001102

Report a data error here

## Abstract of JP2002140581

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a display method by which a state to be displayed is diversified even while reducing quantity of image data to be prepared in an image of reference merchandise to be displayed in the case of sale of the merchandise and a selling method of the merchandise using the same. **SOLUTION:** When prescribed merchandise is sold or service is offered at a site connected with a communication network of the Internet, etc., the merchandise, etc., are displayed in a form of an aggregate in which plural components such as parts are collected in the case of displaying sample images of the merchandise, etc., on a site picture to be provided by the site. In this display, display of design of areas to display the respective components in the sample images is constituted to be changeable by every area. Then the entire display of the sample images is changed in a form to reflect the design to be changed by selecting the design of the area to display the components among prepared variation and displaying the design as separately changing it by every area when a person to access the site makes decision of purchase of the merchandise, etc.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑤

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-140581  
(P2002-140581A)

(43) 公開日 平成14年5月17日 (2002.5.17)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	デマコト* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 8	C 0 6 F 17/60	3 1 8 C 5 B 0 4 6
	Z E C		Z E C 5 B 0 4 9
	3 1 0		3 1 0 E 5 B 0 6 0
17/50	6 1 0	17/50	6 1 0 C
G 0 6 T 11/80		C 0 6 T 11/80	D
審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 16 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-336644 (P2000-336644)

(22) 出願日 平成12年11月2日 (2000.11.2)

(71) 出願人 397022933

株式会社ザザインターナショナル  
愛知県名古屋市中区錦2丁目15番22号

(72) 発明者 谷生 孝行

愛知県名古屋市中区錦2丁目15番22号 株  
式会社ザザインターナショナル内

(74) 代理人 100096751

弁理士 菅原 正倫

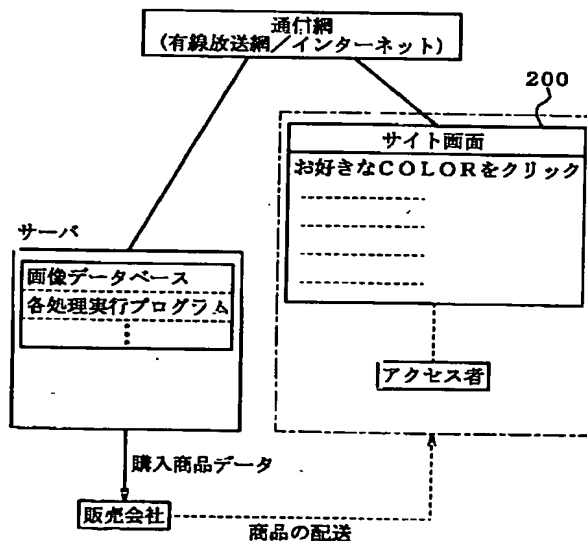
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 商品販売支援方法、商品販売支援システム及びコンピュータ読み取り可能なプログラム

(57) 【要約】

【課題】 商品の販売に際して表示する参考商品の画像において、用意しておく画像データ量を少なくしつつも、表示すべき態様が多様となる表示方法、及びそれを用いた商品の販売方法を提供する。

【解決手段】 インターネット等の通信網に接続されたサイトにおいて、所定の商品を販売又は役務を提供する際に、商品等のサンプル画像をサイトにて提供されるサイト画面上で表示するにあたり、その商品等が、部品等の構成要素が複数集合した集合体の形で表示される。この表示においては、そのサンプル画像における各構成要素を表示する領域の意匠の表示が領域ごと変更可能となっている。そして、アクセス者が商品等の購入の意思決定をする際に、構成要素を表示する領域の意匠を予め用意されたバリエーションの中から選択し、各領域ごと別々に意匠を変更させながら表示することにより、それら変更される意匠を反映する形でサンプル画像の全体の表示が変更される。



### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット等の通信網に接続されたサイトにおいて、所定の商品を販売又は役務を提供する際に、それら商品又は役務（以下、商品等ともいう）のサンプル画像を前記サイトにて提供されるサイト画面上で表示するにあたり、

前記商品等が、部品等の構成要素が複数集合した集合体とされるときに、前記サンプル画像における各構成要素を表示する領域の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合等の意匠の表示が前記領域ごと変更可能となっており、

アクセス者が前記商品等の購入の意思決定をする際に、前記構成要素を表示する領域の意匠を予め用意されたバリエーションの中から選択し、各領域ごと別々に前記意匠を変更させながら表示することにより、それら変更される意匠を反映する形で前記サンプル画像の全体の表示が変更され、

さらに、前記アクセス者がその変更されるサンプル画像のうちから所望のものを決定することにより、その決定されるサンプル画像に係る前記商品等の購入の処理に移ることを特徴とする商品販売支援方法。

【請求項2】 インターネット等の通信網に接続されたサイトにおいて、所定の商品を販売又は役務を提供する際に、それら商品又は役務（以下、商品等ともいう）のサンプル画像を前記サイトにて提供されるサイト画面上で表示するにあたり、

前記商品等は、部品等の構成要素が複数集合した集合体とされるときに、前記サンプル画像を表示するために、複数の前記構成要素のそれぞれの画像を、前記構成要素別に表示する要素別画像データを予め記憶手段に記憶するとともに、その記憶において各構成要素ごとに複数の前記要素別画像データが予め用意されており、

アクセス者が複数の前記構成要素の各々の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合等の意匠を、前記構成要素毎に規定する要素別意匠規定データを入力することにより、その要素別意匠規定データに基づいて各構成要素ごとに前記要素別画像データが選ばれ、それら選ばれる要素別画像データによる表示をそれぞれ組み合わせた形で前記サンプル画像が表示されることを特徴とする商品販売支援方法。

【請求項3】 前記サイト画面において前記サンプル画像とともに、前記商品等の使用又は適用する対象（以下、商品使用対象ともいう）の画像と前記商品等の前記サンプル画像とが互いに組み合わせられた状態で商品等の使用時又は適用時の画像（以下、使用時画像をいう）が表示されるようになっている請求項1又は2に記載の商品販売支援方法。

【請求項4】 前記商品等は、人の顔、頭、首、手、腕等の人の体の一部に装着させて又は前記人の体と一体化させて人の体を装飾する、ピアス、イヤリング、ネック

レス、化粧品等の装飾品であり、

前記使用時画像は、前記装飾品が前記人の体に装着される又は前記人の体と一体化される形で前記人の体の一部と組み合うとともに前記装飾品が前記人の体を装飾するように表示し、さらに、当該使用時画像は、各領域の意匠の変更の際に、前記装飾品と前記人の体とが組み合った状態でその装飾品の少なくとも一部の前記領域の表示が変更されるようになっている請求項3に記載の商品販売支援方法。

【請求項5】 前記装飾品は、人の顔、頭、首等の顔面又はその顔面の近傍を装飾する顔装飾品であり、前記使用時画像は、予め定められた又は前記アクセス者により任意に選択された前記顔面の全体又は一部の写真等の画像と、前記顔装飾品の画像とが組み合った状態でその顔装飾品の少なくとも一部の前記領域の表示が変更されるようになっている請求項4に記載の商品販売支援方法。

【請求項6】 前記要素別画像データは、前記構成要素が描画される描画部を含み、

前記サンプル画像は、当該サンプル画像におけるそれぞれの領域の位置に、各々の要素別静止画像の描画部が位置するように、複数の前記要素別静止画像を多層状に重ね合わせた表示形態をなし、さらに各要素別静止画像は、前記描画部以外の部分において他の要素別静止画像の描画部を透過表示するようになっている請求項2に記載の商品販売支援方法。

【請求項7】 前記サンプル画像において、前記複数の構成要素のうちの少なくとも2以上の前記領域が互いに外縁の少なくとも一部を共有する形で連続するようになっており、それら連続する領域のうちの少なくともいずれか1つの領域の画像が変更される際には、その連続を維持した状態で表示が変更される請求項1ないし6のいずれかに記載の商品販売支援方法。

【請求項8】 前記サンプル画像の一部をなす複数の前記構成要素において各領域の外縁形状が予め規定されており、それら外縁形状の規定される領域の画像の変更に際しては、前記構成要素の形状が変化せず、それら規定される外縁内において前記構成要素の模様及び／又は色彩が変更する請求項1ないし7のいずれかに記載の商品販売支援方法。

【請求項9】 前記サイト画面において、前記要素別意匠規定データを入力するための意匠規定データ入力部が設けられており、

前記意匠規定データ入力部と、前記サンプル画像の表示とが同一表示画面上の別位置に設けられる請求項1ないし8のいずれかに記載の商品販売支援方法。

【請求項10】 前記意匠規定データ入力部において、各々の構成要素が特定可能となるようにその名称、略称、番号、その他の識別情報を表示する識別情報表示部がインデックスとして表示されており、その識別情報表

示部と一対一に対応する形で、その識別情報表示部にて特定される構成要素の各々の意匠を要素別に規定するための要素別意匠規定データ入力部が設けられる請求項9に記載の商品販売支援方法。

【請求項11】 請求項1ないし10のいずれかに記載の方法を実施するために、その方法のステップをコンピュータで実行させる、記録媒体に格納された又は利用可能な状態におかれたコンピュータ読み取り可能なコンピュータプログラム。

【請求項12】 インターネット等の通信網に接続されたサイトにおいて、所定の商品を販売又は役務を提供する際に、それら商品又は役務（以下、商品等ともいう）のサンプル画像を前記サイトにて提供されるサイト画面上で表示するにあたり、前記商品等が、部品等の構成要素が複数集合した集合体とされるときに、前記サンプル画像を表示するためのサンプル画像データを、前記商品等の前記構成要素別の画像を表示する要素別画像データを含む形で記憶しておく記憶手段と、前記サンプル画像における各構成要素を表示する領域の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合等の意匠の表示を前記領域ごとに変更する要素表示変更手段と、前記構成要素を表示する領域の意匠を予め用意されたバリエーションの中から選択し、各領域ごと別々に前記意匠を変更させながら表示することにより、それら変更される意匠を反映する形で前記サンプル画像を表示する表示手段と、さらに、前記アクセス者がその変更されるサンプル画像のうちから所望のものを決定することにより、その決定されるサンプル画像に係る前記商品等の購入の処理に移る購入処理実行手段と、を有することを特徴とする商品販売支援システム。

【請求項13】 前記サイト画面上において前記サンプル画像とともに、前記商品等の使用又は適用する対象（以下、商品使用対象ともいう）の画像と前記商品等の前記サンプル画像とが互いに組み合わせられた状態で商品等の使用時又は適用時の画像（以下、使用時画像をもいう）が表示される請求項12に記載の商品販売支援システム。

【請求項14】 前記商品等は、人の顔、頭、首、手、腕等の人の体の一部に装着させて又は前記人の体と一体化させて人の体を装飾する、ピアス、イヤリング、ネックレス、化粧品等の装飾品であり、前記要素表示変更手段は、前記装飾品が前記人の体に装着される又は前記人の体と一体化される形で前記人の体の一部と組み合わせるとともに前記装飾品が前記人の体を装飾するように前記使用時画像を表示し、さらに、当該使用時画像は、各領域の意匠の変更の際に、前記装飾品と前記人の体とが組み合った状態でその装飾品の少なくとも一部の前記領域の表示が変更するようになっている請求項13に記載の商品販売支援システム。

【請求項15】 前記装飾品は、人の顔、頭、首等の顔面又はその顔面の近傍を装飾する顔装飾品であり、前記要素表示変更手段は、予め定められた又は前記アクセス者により任意に選択された前記顔面の全体又は一部の写真等の画像と、前記顔装飾品の画像とが組み合った状態でその顔装飾品の少なくとも一部の前記領域の表示が変更されるように前記使用時画像を表示する請求項14に記載の商品販売支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品販売支援方法、支援システム及びコンピュータ読み取り可能なプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、インターネット等の通信網を介して商品を購入する方法（いわゆるオンラインショッピング）が提供されている。このようなオンラインショッピングにおいて、例えば、購入者が色、材質等を入力することにより好みのものを購入できるようなシステムが提供されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記のようなオンラインショッピングのシステムであると、色を規定することによりその規定された色の商品が画面上に表示される方法が採られている。このような方法によれば、ユーザーが予め、色合い等を確認してから商品を購入することができるようになるため、予想外の色合いの商品が配送されることが防止されることとなる。

【0004】しかしながら、上記のような色のみを規定したとしても、商品を購入する要素は形状、大きさ、模様、他の物との組み合わせ等多種にわたり、これらをユーザーがインターネット上に独自に設定し、その設定した商品とそのユーザー側に設けられる表示装置にて表示させることは困難であった。

【0005】例えば、複数の組み合わせの画像データを予め用意しておき、ユーザーから組み合わせを設定することにより、その設定される組み合わせに対応した画像を表示するといった方法を用いることができる。しかしながら、このような方法では、組み合わせの数が少ない場合には可能であるが、組み合わせ数が多くなると、膨大な数の画像データを用意せねばならなくなる。

【0006】本発明の解決すべき課題は、商品の販売に際して表示する参考商品の画像において、用意しておく画像データ量を少なくしつつも、表示すべきサンプル画像の態様が多様となるような商品販売支援方法、商品販売支援システム及びコンピュータ読み取り可能なプログラムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段及び作用・効果】上記のような課題を解決するために本発明は、インターネット等

の通信網に接続されたサイトにおいて、所定の商品を販売又は役務を提供する際に、それら商品又は役務（以下、商品等ともいう）のサンプル画像をサイトにて提供されるサイト画面上で表示するにあたり、商品等が、部品等の構成要素（以下、パーツとも言う）が複数集合した集合体とされるときに、サンプル画像における各構成要素を表示する領域の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合等の意匠の表示が領域ごと変更可能となっており、アクセス者が商品等の購入の意思決定をする際に、構成要素を表示する領域の意匠を予め用意されたバリエーションの中から選択し、各領域ごと別々に意匠を変更させながら表示することにより、それら変更される意匠を反映する形でサンプル画像の全体の表示が変更され、さらに、アクセス者がその変更されるサンプル画像のうちから所望のものを決定することにより、その決定されるサンプル画像に係る商品等の購入の処理に移ることを特徴とする商品販売支援方法を提供する。

【0008】上記構成によれば、商品等を構成する構成要素（部品等）ごとにユーザーは自分の好みの意匠を規定すると、その規定した意匠を含んだ商品等のサンプル画像が確認できることとなるため、ユーザーは様々な構成要素の意匠パターンを容易に設定できる。したがって、商品の複数の構成要素をそれぞれ自分に最も適した意匠のものに設定でき、かつ同時にその確認もできることとなる。

【0009】また、商品等として、人の顔、頭、首、手、腕等の人の体の一部に装着させて又は人の体と一体化させて人の体を装飾する、ピアス、イヤリング、ネックレス、化粧品等の装飾品を採用してもよい。そして、サンプル画像が、装飾品のみの画像と、装飾品が人の体に装着される又は人の体と一体化される形で人の体と組み合い、装飾品が人の体を装飾する使用時の画像の両画像を備えるようにしてもよい。そして、使用時の画像が、各領域の意匠の変更の際に、装飾品と人の体とが組み合った状態で変更されるようにすることができる。このようにすると、商品等の単体だけでなく、実際の使用状態を確認することができ、より正確なイメージを把握できる。

【0010】さらには、装飾品として、人の顔、頭、首等の顔面又はその顔面の近傍を装飾する顔装飾品を採用できる。そして、使用時の画像は、予め定められた又はアクセス者により任意に選択された顔面の全体又は一部の写真等の画像と、顔装飾品とを組み合わせる形で表示するようにしてもよい。

【0011】さらに、サンプル画像を表示するために、複数の構成要素のそれぞれの画像を、構成要素別に表示する要素別画像データを予め記憶手段に記憶するとともに、その記憶において各構成要素ごとに複数の要素別画像データを予め用意しておき、アクセス者が複数の構成要素の各々の形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合

等の意匠を、構成要素毎に規定する要素別意匠規定データを入力することにより、その要素別意匠規定データに基づいて各構成要素ごとに要素別画像データが選ばれ、それら選ばれる要素別画像データによる表示をそれぞれ組み合わせた形でサンプル画像が表示されるようにすることができる。このように、構成要素（パーツ）ごとに予めそれぞれ複数の要素別画像データを用意しておき、ユーザーの選択によってそれを組み合わせるようにすれば、膨大な組み合わせの画像データを予め用意しておく必要がなく、データ量が極めて少なくなる。一例をあげると、例えば3つのパーツからなるサンプル画像において、各パーツごと20種類の色が用意されているとすると、全ての色の組み合わせを表現するには $20 \times 20 \times 20 = 8000$ の画像を用意しておかなければならない。また、パーツが増えたとこの数は相乗的に増えることとなる。そして、このような画像をウェブ上で（例えば、プロバイダーにおけるサーバー内に）用意しておくことはデータ量、データ検索等の点においても難点が多い。しかしながら上記方法を用いれば、それぞれ構成要素ごとに20ずつ用意しておけば全ての組み合わせに対応できる。この場合には $20 + 20 + 20 = 60$ の画像数で足りる。即ち、データ量の大幅に軽減できるのである。

#### 【0012】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図面に示す実施例を参照しつつ説明する。以下、本発明の実施の形態を図面に示す実施例を参照しつつ説明する。図1は、本発明の方法を実施する商品販売支援システム（以下、単にシステムともいう）1の構成例を示すブロック図である。システム1は、インターネットなどの通信網702と、これに送受信手段としてのデータ回線終端装置（モデム701）を介して接続されたホスト装置700と、同じく送受信手段としてのデータ回線終端装置（モデム752（図2））を介して接続された複数の端末装置703（以下、単に端末703ともいう）とを含むものとして構成されている。

【0013】ホスト装置700はコンピュータとして構成され、I/Oポート11を備え、これにCPU12（要素表示変更手段、購入処理実行手段）、ROM13、RAM14、ハードディスクドライブ等で構成された固定記憶装置22（記憶手段）、及びCD-ROMドライブ4等が接続されている（モニタやプリンタ等の出力装置、キーボードやマウス等の入力装置、カレンダーロック等が接続されていてもよい）。固定記憶装置22には、商品販売支援システム1の機能をコンピュータ上にて実現するためのアプリケーションプログラム（以下、単にアプリケーションともいう）24と、その作動環境をコンピュータ上に形成するオペレーティングシステムプログラム（OS）23と、画像データベースを少なくとも含んで構成されるデータベース25とが格納さ

れている。

【0014】これらプログラム23、24とデータベース25は、例えば、記録媒体としてのCD-ROM（又はDVD、その他移動可能な記録媒体）に記録された形で供給され、これを読取装置としてのCD-ROMドライブ4にセットして、CPU12により所定のインストールプログラム（図示せず）を起動することにより、固定記憶装置22内にインストールされるようにできる。また、ホスト装置700と通信網を介して接続される別のサーバからインストールプログラムが配信されるようにしてもよい。また、ROM13には、コンピュータのハードウェア制御のための基本的な各種プログラムが格納される。さらに、RAM14には、固定記憶装置22及びROM13に格納された各プログラムのワークエリアが形成されている。

【0015】また、各端末703はそれぞれが、図2に示すように、I/Oポート751とそれに接続されたCPU754、ROM755、RAM756とを含むコンピュータとして構成され、入力手段としてのキーボード2、マウス3（他のポインティングデバイスでもよい）、出力手段としての図示しないプリンタ制御部を備えたプリンタ6及びモニタ制御部20がI/Oポート751に接続されている。また、モニタ制御部20には表示画面を有する出力手段としてのモニタ21（表示手段）が接続されている。端末703は例えばデスクトップ型のコンピュータとして構成してもよいが、電池等を電源部に使用するノートパソコンやラップトップパソコンあるいはパームトップコンピュータ（PDA）等を用いてもよい。

【0016】そして、利用者による各処理に必要な情報（要素別意匠規定データ等）の入力を、通信網702を介して接続された端末703側から行うこととなる。端末703側の通信処理は、図2に示すRAM756の通信プログラムワークエリア756aを用いて、所定の通信プログラムにて実行される。そして、端末703側でキーボード2ないしマウス3により入力された情報は、通信網702を経てホスト装置700に送られ、そこで、アプリケーションプログラム24による各種の処理が実行される。そして、その処理の結果を通信網702を経てアクセスのあった端末703に送信し、そこでその端末703のプリンタ6ないしモニタ21に出力させる。なお、モニタ等からの視覚的情報とともに、アンプ757を介してI/Oポート751に接続されるスピーカ758にて音声出力するようにしてもよい。具体的には、端末703のモニタ21に、グラフィックユーザインターフェース（GUI）による操作・表示画面を形成するための端末側操作・表示プログラムが、ホスト装置700から端末装置703に送られ、ワークエリア756a、756b上にてそのプログラムが実行される。また、端末装置703にはさらに、その端末装置703の

管理を行うオペレーティングシステム753a、端末側からインターネット等を介してホスト装置700にアクセスするためのブラウザ753c等を備えた固定記憶装置としてのハードディスクドライブ（以下、HDDともいう）753が設けられる。さらにHDD753には、ホスト装置700からダウンロードされる各種データを格納するデータベース753d、端末装置におけるマニュアル作成に関する各種処理を行うアプリケーション753bが備えられる。また、ホスト装置700からの原稿データ等はデータメモリ756cに格納される（データベース753dに格納するようにしてもよい）。

【0017】次に、本発明の商品販売支援方法の概要について述べる。インターネット等の通信網に接続されたサイトにおいて、所定の商品を販売又は役務を提供する際に、それら商品又は役務（以下、商品等ともいう）のサンプル画像をサイトに提供されるサイト画面上で表示するにあたり、その商品等が、部品等の構成要素が複数集合した集合体の形で表示される。この表示においては、図8のように、サンプル画像201における各構成要素を表示する領域の意匠（形状、模様若しくは色彩又はこれらの結合等）の表示が領域ごと変更可能となっている。そして、アクセス者が商品等の購入の意思決定をする際に、構成要素を表示する領域の意匠を予め用意されたバリエーションの中から選択し、各領域ごと別々に意匠を変更させながら表示することにより、それら変更される意匠を反映する形でサンプル画像201の全体の表示が変更される。さらに、アクセス者がその変更されるサンプル画像201のうちから所望のものを決定することにより、その決定されるサンプル画像201に係る商品等の購入の処理に移ることとなる。

【0018】なお、商品等の例として、人の顔、頭、首、手、腕等の人の体の一部に装着させて又は人の体と一体化させて人の体を装飾する、ピアス、イヤリング、ネックレス、化粧品等の装飾品を採用できる。図8には、その一例としてのピアスの例を示している。なお、サンプル画像201とともに、商品等の使用又は適用する対象（以下、商品使用対象ともいう）の画像と商品等のサンプル画像とが互いに組み合わせられた状態で商品等の使用時又は適用時の画像（以下、使用時画像をいう）が表示することができる。例えば、図8においては、装飾品のみの画像（装飾品単体画像）であるサンプル画像201と、装飾品が人の体に装着される又は人の体と一体化される形で人の体と組み合わせ、装飾品が人の体を装飾する使用時の画像（使用時画像203）とが同一画面上にて表示されている。さらに、使用時画像203は、各領域の意匠の変更の際に、装飾品と人の体とが組み合った状態で変更されるようになっている。

【0019】また、図8のように使用時画像203は、予め定められた又はアクセス者により任意に選択された顔面の全体又は一部の写真等の画像と、顔装飾品とを組

み合わせる形で表示することができる。図8の例では、予め定められた耳の部分の画像(写真等)と、ピアスの画像とが組み合わされた形で表示されており、耳にピアスが装着された状態を示している。そして、このような組み合わされた表示状態を維持しつつ、ピアスの構成要素の画像のみ(画像202a'~202h')が部分的に表示変化してゆくこととなる。なお、組み合わせ対象となる顔面の全体又は一部の写真等の画像は、ユーザーの実写画像(例えば、ユーザーの体全体、顔全体、或いは体の一部(顔の一部)等の画像)、を用いるようにすることができる。例えば、ユーザーの実写画像を予め用意しておくとともに、その実写画像と装飾品の画像とを組み合わせた形でサイト画面上で表示すれば、ユーザーは自分の写真で装飾品を確認でき、自分に合ったものを実際に確かめてから購入できることとなる。なお、実写画像をユーザーがサーバーに送信して登録しておけば、以降において流用できることとなる。また、図8の例では、商品使用対象の画像として静止画像が用いられている例を示したが、商品使用対象が動画表示されるようになっていてもよい。また、サンプル画像の一部が動画表示されるようになっていてもよい。

【0020】従来においては、商業者は、不良在庫を無くすために売れ行きの極めて大きいものに商品をしばり、そのような商品のサンプル画像のみを提供する傾向にあった。即ち、被提供者の選択の幅を実質的に狭めることとなっていた。しかしながら、上記方法によれば、販売側は、実際の商品の在庫を予め備える必要がなく、商品の映像在庫を有してさえいれば、注文があった後に製造・販売にとりかかることができるため、不要な在庫を大幅に削減でき、ひいては商品のコスト削減に寄与し得る。

【0021】図4は、本発明の方法の流れをフローチャートにて説明している。まず、ユーザー(アクセス者)によりインターネット等を介して本発明の方法を提供するサイトにアクセスされると、S110にてYESに進み、商品選択用画面(図示略)を表示する。この商品選択用画面は、ユーザーが希望する商品を選択できる画面である。なお、サイトにて提供される商品が一つのみである場合(即ち、選択の余地が無い場合)にはS120及びS130を省略してもよい。また、商品選択用画面においては、例えば、商品名を選択可能な形で一覧表示して選択させるようにしてもよく、或いは、商品の一例を示す例示画像を選択可能な形で一覧表示し、いずれかの例示画像を選択入力させるようにしてもよい。

【0022】いずれにしても、対象となる商品が決定した場合には、S140に進み、その商品の各パーツを選択し、デザインを決定する商品パーツ選択処理を行うこととなる。そして、その商品パーツ選択処理において商品のパーツが決定すると、そのデザインの決定した商品の購入条件に基づいて当該商品を購入予定物とするか否

かを判断する購入予定物決定処理を行う(S150)。さらに、ユーザーから他の商品についての検討が希望された場合にはS160にてYESに進み、再び120からS150までの処理を繰り返すこととなる。購入すべき商品の検討を終えると、S150にて生成された購入予定物データに基づき最終的な購入商品データを生成し、出力することとなる(S170)。

【0023】図5は、商品パーツ選択処理の一例をフローチャートにて示している。当該商品パーツ選択処理の前には、上述したように販売の選択対象となる商品が予め決定されており、まず図8のごとく、その販売対象となる商品に対応した要素別意匠データ選択用画面をサイト画面200にて表示する(S210)。なお、ここにいるサイト画面とは、端末装置703により本発明の方法を提供するサイトにアクセスした場合にブラウザを介して表示される画面である。そして、そのサイト画面200にて表示される要素別意匠データ選択用画面の初期画面においては、サンプル画像201としてデフォルト画像が表示されるようになっている。さらに、サンプル画像201(ピアスの画像)とともに、そのピアスの着用時の画像をも表示する使用時画像203が表示されるようになっている。そして、サイト画面200においては、複数の構成要素の各々とそれぞれ対応する形で、要素別意匠規定データを入力するための意匠規定データ入力部233が各構成要素ごと設けられている。図8の例では、意匠規定データ入力部233は、サンプル画像201と同一表示画面上の別位置に設けられ、さらに表形式にて設けられている。その表においては、各々の構成要素が特定可能となるようにその名称、略称、番号、その他の識別情報を表示する識別情報表示部が列又は行のいずれか一方のラベルとして表示される。その識別情報表示部と一対一に対応する形で、その識別情報表示部にて特定される構成要素の各々の意匠を要素別に規定するための要素別意匠規定データ入力部が設けられている。本実施例では、識別情報表示部における識別情報としてサンプル画像201にて各構成要素毎に付与されている番号(1番~8番)が表示されている。

【0024】本実施例においては、各構成要素の材質が選択入力されることにより、各構成要素と、選択された材質とを対応付けた要素別意匠規定データが生成される。そして、要素別意匠規定データの生成に基づき(S220YES)、その規定対象となる構成要素の画像(画像202a~202h)が、要素別意匠規定データにより規定される画像に変更された形で商品のサンプル画像201が表示される(S240)。具体的には、例えばパーツ番号1番において、「ピンク」をクリックすると、瞬時にパーツ番号1番であり、かつ「ピンク(K18PG)」の画像が呼び出され、商品画像表示部202のパーツ番号1番の部品の画像が、その呼び出される画像に変更される。その呼び出される画像は、その画像

における描画部が、商品画像におけるその構成要素の表示領域に収まるように表示される

【0025】次に、図7において、画像データが格納される画像データベースの構成例を示す。画像データベースにおいては、構成要素別の画像データ（要素1画像データ、要素2画像データ等、以下要素別画像データともいう）が記憶されており、各要素別画像データにおいては、図7（b）のごとく複数の静止画像データが備えられている。図10（b）～（i）は、静止画像データにより表示される静止画像の例を示しており、それぞれ別々の構成要素の静止画像が表示されている。

【0026】また、図10（a）に示される商品の画像は、図10（b）ないし（i）の要素別画像を組み合わせたものを示している。なお、図8に示されるサンプル画像201もこれと同様に、複数の要素別画像が組み合う形で表示されている。静止画像データが当該サンプル画像におけるそれぞれの可変領域の位置に、各々の要素別静止画像における構成要素を描画した描画部が位置するように、複数の要素別静止画像を多層状に重ね合わせた表示形態をなし、さらに各要素別静止画像は、描画部以外の部分において他の要素別静止画像の描画部を透過表示するようになっている。そして、それぞれの要素別画像は、フレームが一致するように重ね合わせることで、図10（a）の全体画像のようにそれぞれの構成要素の位置に表示されることとなる。

【0027】また、図11（a）～（c）は、図10（b）にて示される静止画像データと同一の構成要素（キャッチ部分）における静止画像データを示している。図11（a）は材質がK18PG（18金ピンクゴールド）であるキャッチ部分の画像を示し、図11（b）はK18YG（18金イエローゴールド）、図11（c）はK18WG（18金ホワイトゴールド）のものを示している。例えば図13（a）の商品画像は、図11（c）に示される画像を適用した例を示している。

【0028】また、図12（a）～（c）には、それぞれ図11（a）～（c）と同一の構成要素の静止画像データであってそれらとは異なる形状の静止画像データの例を示している。このように、要素別画像間において一部の形状が異なる場合であってもよい。例えば、キャッチ部分において図12（a）に示される形状のものを選択した場合には図13（b）に示されるように変更されることとなる。本方法を用いれば、図14のようにパーツの追加も容易に行うことができる。例えば、図14のように追加する位置に描画部が表示されるように位置決めされた画像を新たに設け、それを図10（a）に示されるものと組み合わせることにより図14（b）の新たな部品の画像を容易にサンプル画像に組み込むことができる。

【0029】なお、図8に示される表示画面においては、材質のみが指定可能となっているが、図12（a）

～（c）のように、形状の異なるものをユーザーに選択させる場合には、形状入力部を別途設けるようにしてもよい。また、このように形状入力部等を設けずに、構成要素の画像が順番に表示変化するようにしてもよい。例えば、商品画像表示部202において、いずれかの構成要素をクリックすることにより、又は、その構成要素と別位置において、その構成要素と対応して設けられる変更ボタンをクリックすることにより、その構成要素の画像が呼び出されるようにすることができる。この場合には、そのクリックを続けることにより表示画像が順番に変更されていくこととなる。

【0030】図5に戻り、表示された商品の画像のパーツで良ければ（即ちサンプル画像のデザインでOKであれば）その商品パーツデータ（どのパーツにどの意匠（本実施例ではその意匠を決定する素材）が選択されているか等のデータ）を記憶手段（商品パーツメモリ）に記憶する。また、商品のパーツを更に変更したい場合には、S250にてNOに進む。なお、この場合、同一商品においてパーツのみを変えて他のパターンを試したい場合にはS270においてYESに進み、S210からS250までの処理を繰り返す。また、他の商品を試したい場合にはS270にてNOに進むとともに、S280においてYESに進み図4におけるS120からの処理を繰り返す。また、S280においてNOに進みそのまま終了してもよい。

【0031】そして、商品のデザインが決定した場合（即ち、図4のフローチャートにおいて、S140が終了した場合）には、次いで図6に示される購入予定物決定処理が実行されることとなる。なお、図8の画面においては、商品のパーツが決定された後に、注文データ入力部237において、商品の個数等を入力し、注文ボタンを選択することにより商品パーツデータと対応する商品注文データが生成されるようになっている。そして、購入予定物決定処理においては、図5の商品パーツ選択処理にて生成された商品パーツデータと及び図8の注文データ入力部237における入力により生成された商品注文データにより決定する商品の商品コード、料金、数量等のデータを画面に表示する（S310）。

【0032】図9は、その表示画面構成例を示しており、決定された商品パーツデータ及び商品注文データに対応する商品名、単価、数量、写真（図示略）、小計が表示されている。そして、この表示内容を確認した上での購入を希望するのであれば、これら商品コード及び小計等の内容を購入予定物データとしてRAM内に設けられた購入予定物メモリに記憶する（その他の記憶媒体でもよい）（S330）。また、図9のような表示内容での購入を希望しないのであれば、S320にてNOに進む。なお、S340において、その決定している商品パーツデータを削除するのであれば、S340にてYESに進み、商品パーツメモリに記憶されている商品パーツ



データを削除する。また、削除せずにS210に戻り（即ち、S340にてNOに進み）、再び要素別意匠規定データを入力し直すようにしてもよい。

【0033】そして、購入予定物決定処理が終了すると、図4におけるS160にて他の商品の購入も検討するか否かを購入希望者（アクセス者）に伺い、購入が希望された場合には上述したように再びS120からS150までの処理を繰り返す。そして、購入者が購入を希望する商品の全てについて購入予定物データを生成し終えた場合には、S170に進み、記憶されている購入予定物データに基づいて購入商品データを生成し、出力する。なお、この購入商品データは、暫定的にサーバーに記憶しておき、許可された特定の者が取り出せるようにしてもよく、図3にて示されるようにサーバーと通信網を介して接続されたその購入対象となる商品を扱う会社（例えば、実際にその商品を販売する販売会社等）に送信するようにしてもよい。なお、このように販売会社に購入商品データを送信した場合には、それを受けて販売会社が購入者に対して商品を配送することとなる。なお、販売会社は、商品の注文数をカウントし、商品の要求が所定数に達した後に販売を開始するといったことも可能となる。

【0034】また、上記説明においては、ピアスを例に挙げて説明したが、これに限定されるというわけではなく、リング、ペンダントトップ、その他ジュエリー等の様々なアクセサリに種々に利用できる。例えば、半貴石（誕生石等の色付き石）の原型の画像を複数用意し、それとリング、ペンダントトップ、ピアス、その他ジュエリーの画像を組み合わせてもよい。

【0035】次に図15から図23を参照し、本発明の変形例について説明する。図15は、対象となる商品等を、ヘアスタイル、化粧品、アクセサリ等の顔装飾品とした場合について説明している。なお、本発明にいう商品等のサンプル画像は、商品購入時の形態のみならず、図15に示される化粧品等のように使用時の形態をも含む。また、髪型（ヘアスタイル）等の画像は役務の提供のサンプル画像に含まれるものとする。そして、図15のような化粧品、髪型、アクセサリ等を組み合わせた画像を得るために、図16のような髪、唇、アイシャドーの画像を要素別画像としている。髪についての要素別画像は、種々の髪型（ロングヘア、ショートヘア、パーマ等）、髪色（ヘアマニキュア、ヘアカラー等）の画像を組み合わせに適用できる。また、これに加え付属物、ピン、バレッタ、カチューシャ等の画像を備えておき組み合わせるようにしてもよい。また、唇の要素別画像は、口紅の色、塗り具合（濃さ、広さ、形状等）等が様々な画像を用意することができる。その他、チーク、アイシャドー、マスカラ等の種々の化粧品のパターン等の画像を用意しておくことができる。なお、従来においては、消費者が化粧品等を購入する場合には、商品のサン

プルを見て購入するか、或いはサンプルを実際に使用して自分に合うか確かめるといったやり方が一般的であったが、このように様々な化粧品パターンを要素別画像として用意しておけば、利用者が好みに合わせて化粧品パターンを任意に設定でき、あたかも画面上でメイクをしている雰囲気となる。また、要素別画像の対象として各種形状、各色のウィッグの画像を髪型の画像と組み合わせるようにしてもよい。なお、図15のように、複数の商品を個別に設定できるようにし、各々設定された商品が同一画像内に表示されるようにすれば、単一商品内の組み合わせだけでなく、それぞれ個別にカスタマイズされた複数商品の組み合わせをも確認できる。例えば、図15では、ピアスを構成要素ごとに表示変化させて設定できるようになっているが、ネックレスについても同様に構成要素ごとに設定できるようにすれば、アクセサリ間の相性をも実際に確認できるようになる。

【0036】また、対象となる商品を付け爪としてもよい。例えば、手や足のサンプル画像に様々な形状の付け爪の画像を組み合わせるようにすることができる。加えて、その付け爪の色、模様を決定するために、様々な色、模様、或いはピアス等の画像を組み合わせるようにしてもよい。

【0037】また、図17の例のごとく、靴下等に適用してもよい。例えば、種々の形、種々の長さの靴下画像、或いはメーカーのロゴが設けられた靴下画像を用意し（メーカーのロゴのみの画像を別途用意して組み合わせるようにしてもよい）、それに模様や、色の画像を組み合わせることができる。図17（a）の例では、図17（c）に示される色と、（d）に示される模様とを組み合わせた画像を示している。また、靴下に限らず、メーカーごとの下着（トランクス、ブリーフ、シャツ、ショーツ、ブラジャー、キャミソール、ボディスーツ等）の画像に、種々の色、模様の画像を組み合わせることができる。また、予め、人物画像を用意しておき、それに、ブラジャー、ショーツ、キャミソール等の下着の画像を利用者が任意に組み合わせるようにすれば、例えば、メーカー、カラーなどを統一して購入する消費者等にとっては極めて有用となる。

【0038】また、このような下着に限らず様々な洋服に利用できる。従来であると、所謂ネット販売にて洋服を買う場合、トップス、ボトムス、スーツ等と分かれており、それぞれ個別に購入せざるを得なかった。しかしながら、本発明によれば、例えば、複数のボディの画像と、トップス、ボトムス、帽子、靴などの画像を要素別画像として用意しておくことにより、消費者がそのボディともにトップス、ボトムス、帽子、靴などを任意に選択することに応じて、それらを画像を組み合わせる実際に確認できることとなる。また、組み合わせを変えることも容易に行える。

【0039】また、対象商品をスポーツ用品としてもよ

い。図18及び図19はその一例として水着の例を示している。例えば、図19のような人物の水着着用部分の画像を用意しておき（例えば、予め数種類の体形の画像を用意しておき）、利用者が体形と水着のそれぞれの画像を任意に選んでコーディネートするようにしてもよい。例えば、図18(a)ないし(c)に示されるような水着に関する要素別静止画像の中から、任意のものを組み合わせるようにすることができる。例えば、図19に示されるものは、図18(a)の左端の画像、(b)の右端の画像、及び(c)の右端の画像を組み合わせたものである。なお、図18では、(a)において水着の形状を規定し、(b)では模様を、(c)では色を規定するようになっている。なお、構成はこれに限定されない。また、水着に限らず、例えば、スノーボード等を対象とすることもできる。一例をあげると、各種形状のスノーボード板に各種の色を組み合わせるようにしてもよいし、スノーボード板、ビンディング、ブーツ等の画像を要素別画像として用意しておきこれらが組み合わせ可能となるようにしてもよい。

【0040】また、図20及び図21に示されるように、Yシャツ等の衣服を対象としてもよい。図20(a)においては、形状が異なる複数の襟の要素別画像が、(b)においては数、配置、形状等が異なる胸ポケットの要素別画像が、そして、(c)においては色彩、模様、形状等が異なる複数のネクタイの要素別画像が設けられている。そして、図21においては、これら要素別画像を組み合わせたものを示している。

【0041】また、図23に示されるように、セダン、スポーツカーなど、自動車等の車両のサンプルを各種用意し、そのサンプルに任意の色を組み合わせるようにしてもよい。また、それに加え、内装やタイヤ、ホイール等のパーツも任意に選択できるようにしてもよい。図22においては、選択する要素の一例を示しており、図1では、ボディー色、ホイール形状、エアロパーツを選択可能とした例について示している。なお、これに限定されず、ミラー、スポイラー、ライト、その他を変更可能にすれば、ユーザーの選択肢が一層広がる。なお、自転車、バイク、その他種々の乗物に利用できる。また、建設作業に使用する作業機等にも利用できる。例えば、ショベルカーのショベル部分の画像を様々に用意しておき、それと本体部分とを組み合わせ確認することができる。

【0042】さらには、文房具等を対象商品としてもよい。例えば、ファイル等を対象とした場合、1つのファイルの画像を用意しておき、色、模様、等の画像を組み合わせるようにしてもよい。また、サイズ、厚さ等を任意に選択するようにしてもよい。また、ファイルに限らず、マーカー等の筆記具、ノート、その他種々の文房具に利用できる。

【0043】また、家具、インテリア等を対象商品とし

てもよい。例えば、テーブルとテーブルクロス（ランチョンマット等でもよい）の種々の画像をそれぞれ用意しておき、組み合わせを自由に変更できるようにすれば、テーブルとのコーディネートを確認した上でこれらを購入できることとなり、消費者の購入意欲も増大する。また、部屋のサンプル画像を用意し、ソファ、カーテン、絨毯、クッション等の画像を要素別画像として任意に組み合わせできるようにしてもよい。また、家、ビル等の建築物に適用してもよい。例えば、家の屋根、壁、窓、その他の画像を組み合わせ表示することにより、屋根、壁等の模様、窓の配置等を好みのものを選択できるようにしてもよい。

【0044】また、カラーライト等に利用してもよい。たとえば、カラーライトの色画像と、カラーライトによって照射される照射物の画像とを組み合わせることにより、カラーライトによる照射物の照射具合を確認できるようにしてもよい。この照射物の例としては果物や部屋を適用できる。また、種々の家電製品にも利用できる。特に冷蔵庫等の大型電化製品の画像と、種々の色、模様画像を組み合わせるようにすることができる。これにより、客側は実際に購入を予定する色を確認することができ、販売店側は全色の商品を用意しなくても客にサンプル画像を示すことができる。即ち、売れ行きの薄い在庫を抱え込む必要等がなくなる。

【0045】その他、服飾雑貨、ハンカチ、ネクタイ、帽子、手袋等にも利用できる。また、ゼリー等の食料品、雑貨（例えば、多色のキャンドル等）、ブランドバック等のブランド品、靴、食器、花瓶、コップ、皿、箸、学習教材等、様々なものに利用できる。なお、適用例はこれに限定されず、様々な商品に利用できることは言うまでもない。

【0046】以上、本発明の実施の形態を説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、各請求項に記載した範囲を逸脱しない限り、各請求項の記載文言に限定されず、当業者がそれらから容易に置き換えられる範囲にもおよび、かつ、当業者が通常有する知識に基づく改良を適宜付加することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の商品デザイン決定方法及び商品販売方法に用いるシステムの構成例を示すブロック図。

【図2】端末装置の構成例を示すブロック図。

【図3】本発明の商品販売支援方法に用いるシステムを概念的に説明する図。

【図4】商品パーツ決定処理及び商品購入処理の流れの一例を示すフローチャート。

【図5】商品パーツ選択処理の流れの一例を示すフローチャート。

【図6】購入予定物決定処理の一例を示すフローチャート。

【図7】画像データベースの一例を示すフローチャー

ト。

【図8】要素別意匠データ選択用画面の表示構成例を示す図。

【図9】購入予定物決定用画面の表示構成例を示す図。

【図10】ピアスを対象とした要素別静止画像の一例を示す図。

【図11】特定の構成要素（キャッチ部分）の要素別静止画像のいくつかの例を示す図。

【図12】図11の別例を示す図。

【図13】サンプル画像の表示例を示す図。

【図14】図13の別例を示す図。

【図15】本発明の商品販売支援方法を装飾品に適用した例を示す図。

【図16】装飾品を対象とした要素別静止画像の例を示す図。

【図17】本発明の商品販売支援方法を靴下に適用した例を示す図。

【図18】水着を対象とした要素別静止画像の例を示す

図。

【図19】図18の要素別静止画像を用いたサンプル画像例を示す図。

【図20】衣服を対象とした要素別静止画像の例を示す図。

【図21】図20の要素別静止画像を用いたサンプル画像例を示す図。

【図22】車両を対象とした要素別静止画像の例を示す図。

【図23】図22の要素別静止画像を用いたサンプル画像例を示す図。

【符号の説明】

1 商品販売支援システム

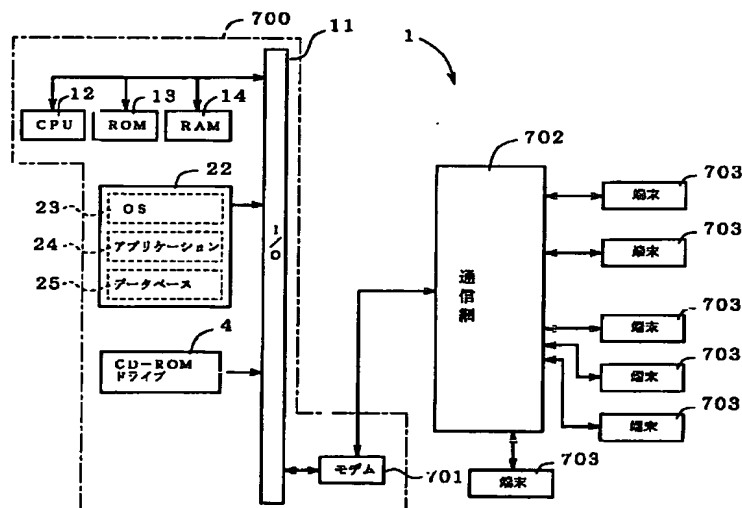
200 サイト画面

700 ホスト装置（サーバー）

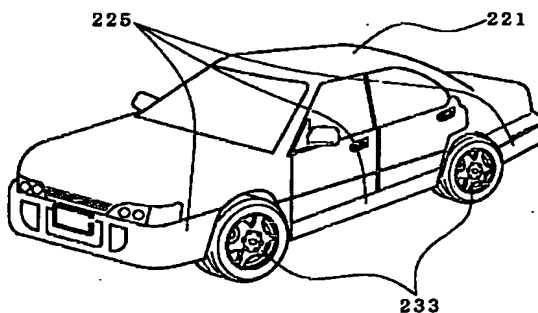
702 通信網

703 端末装置

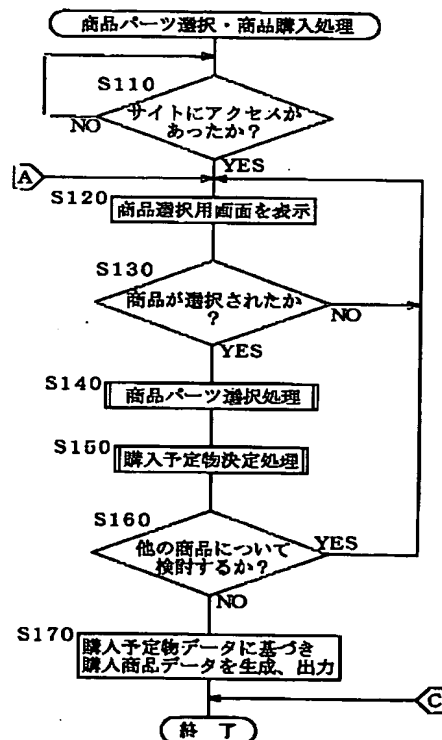
【図1】



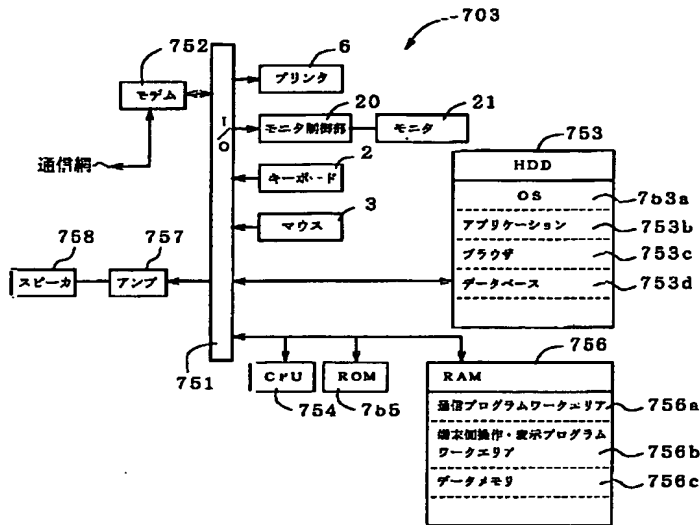
【図23】



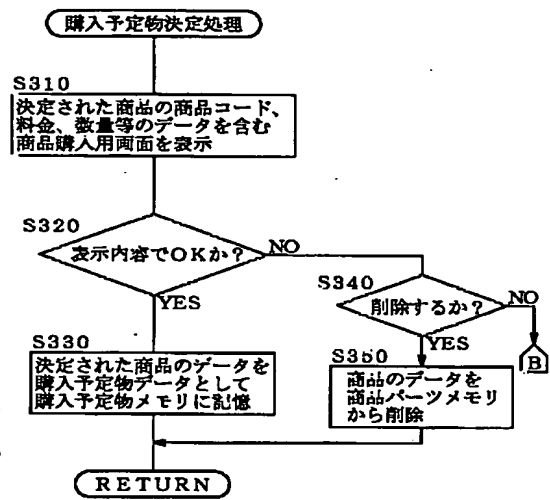
【図4】



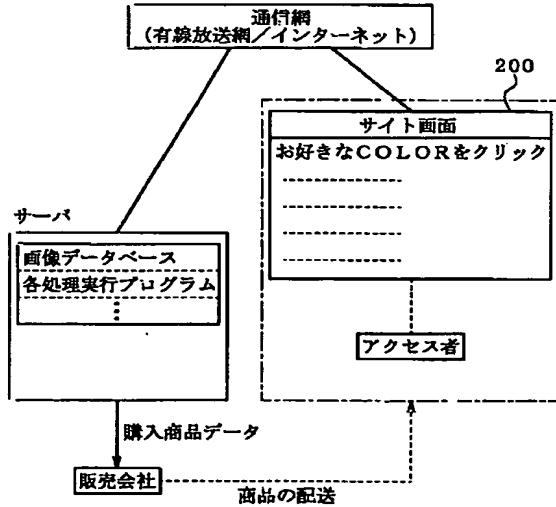
【図2】



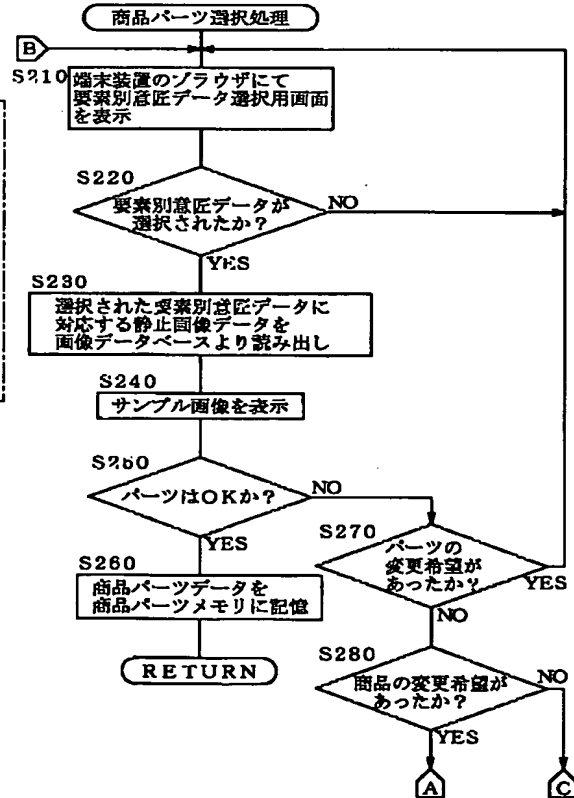
【図6】



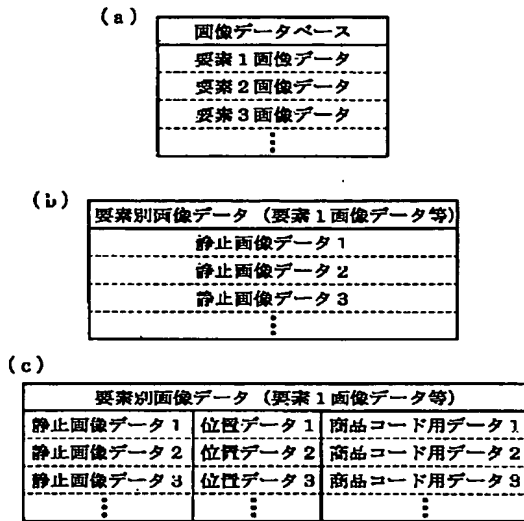
【図3】



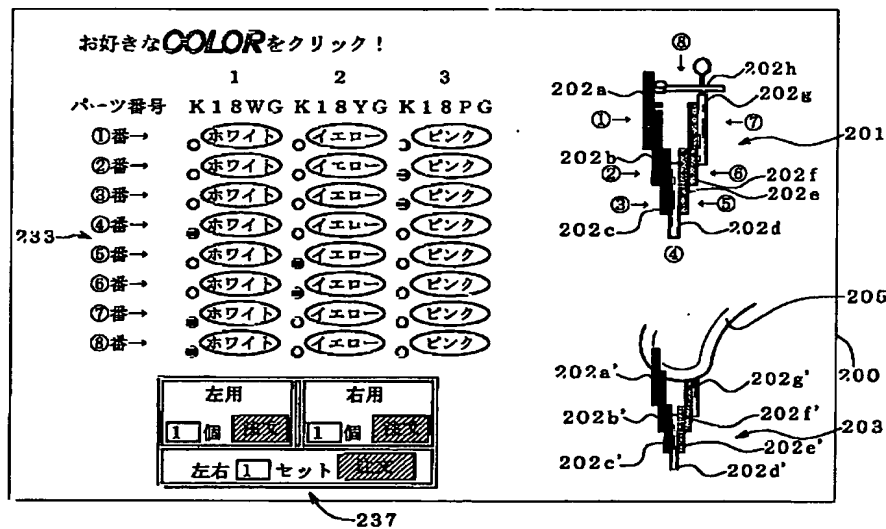
【図5】



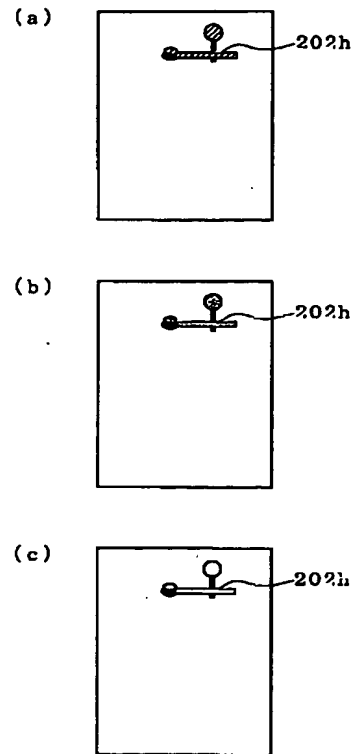
【図7】



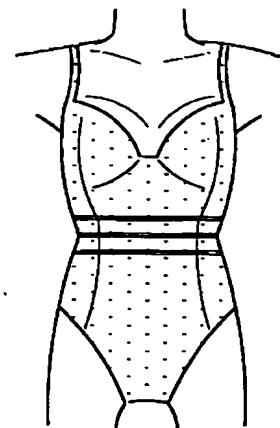
【図8】



【図11】



【図19】



【図9】

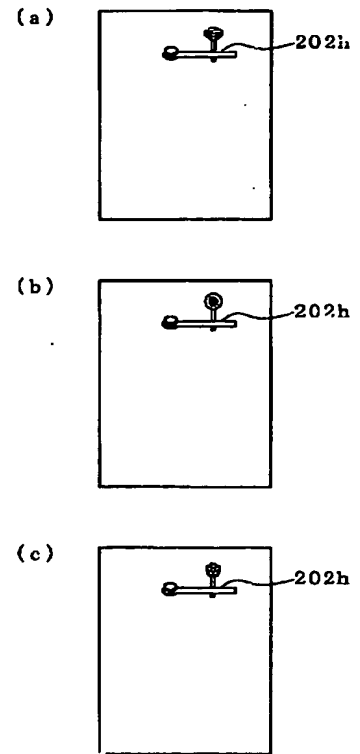
現在、注文票には下記の商品が選択されています。

商品名	単価	数量	写真	小計	削除
00000-1-21233232	6750	1	<input type="checkbox"/>	6,750	<input type="button" value="削除"/>
税別合計				6,750円	
消費税5% (337円) 込み総合計				7,087円	

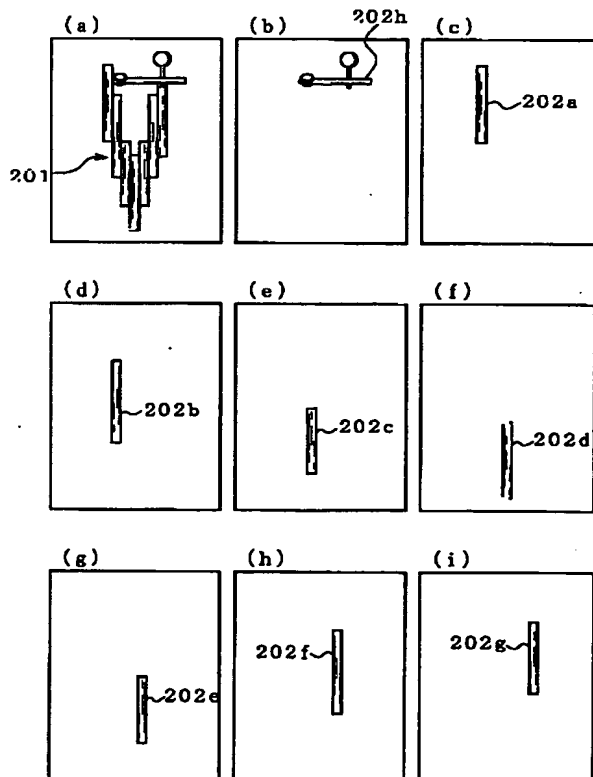
お選びになった商品内容は消える事はございませんので  
ご安心してお買い物をお続け下さい。  
お取替えや変更が必要な際は削除ボタンで  
商品内容を削除してください。

商品のお届には必ず送料が必要です。⇒配達方法選択  
送料についての詳しい内容についてはこちらへ

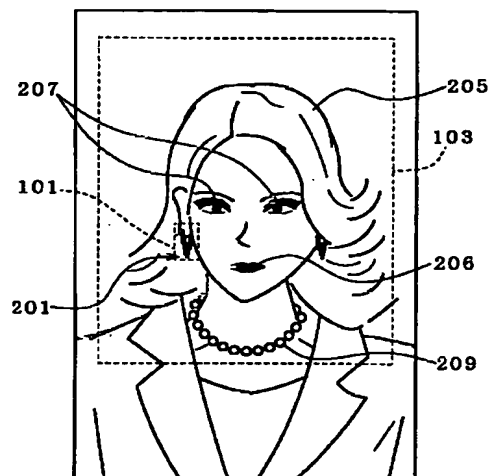
【図12】



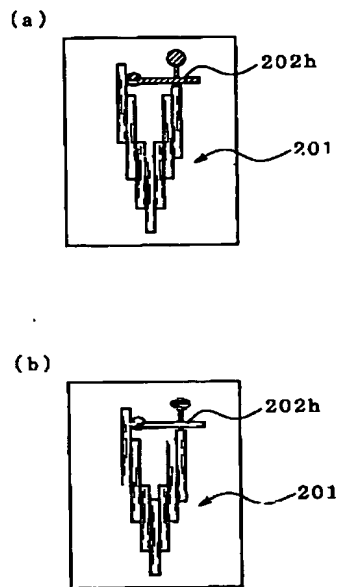
【図10】



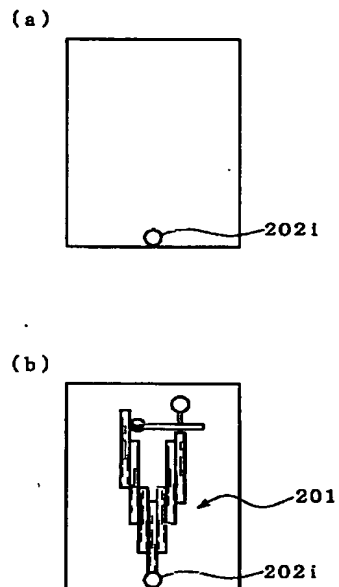
【図15】



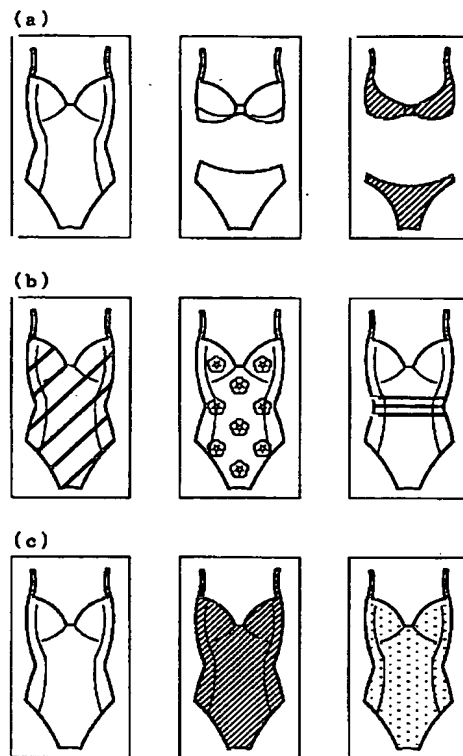
【図13】



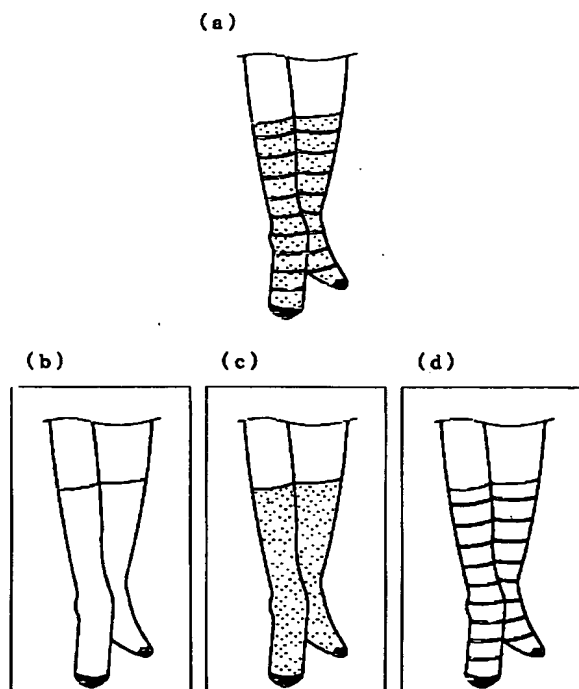
【図14】



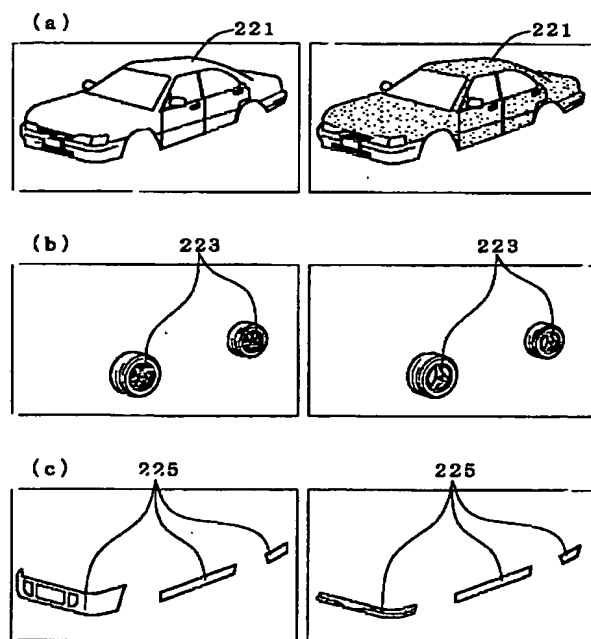
【図18】



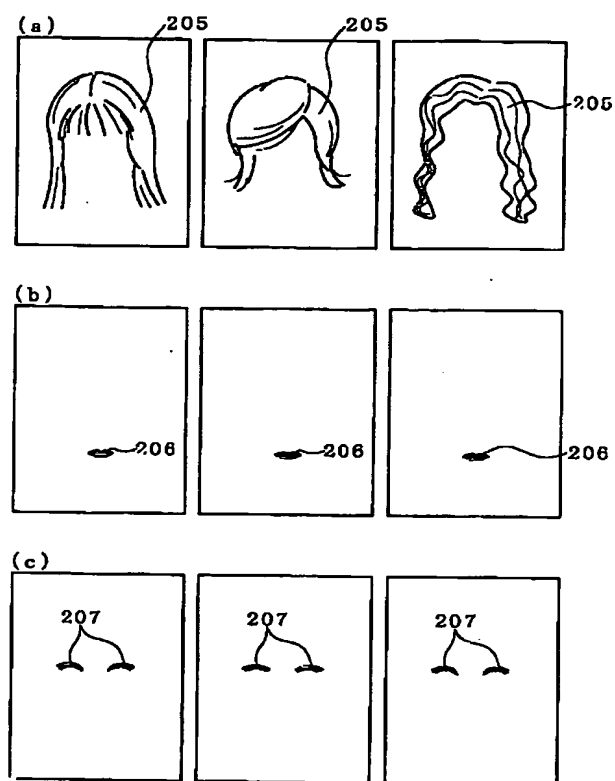
【図17】



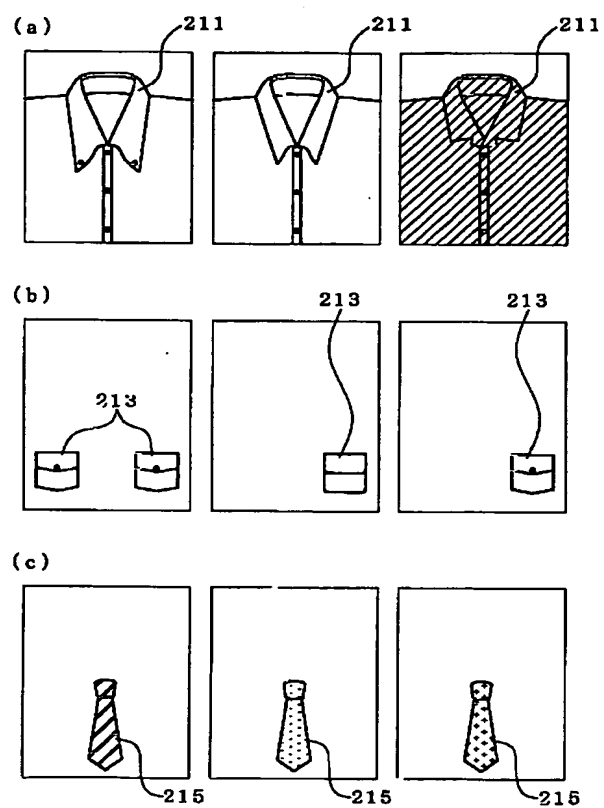
【図22】



【図16】

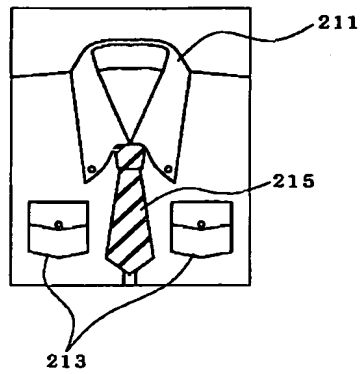


【図20】





【図21】



---

フロントページの続き

Fターム(参考) 5B046 AA04 AA10 BA01 CA06 DA02  
FA10 GA01 GA04 HA05  
5B049 BB00 BB11 CC05 CC08 EE07  
FF03  
5B050 AA10 BA06 BA08 BA09 BA12  
BA13 BA15 CA08 DA02 DA04  
EA19 FA02 FA05 FA13